

# イトヨ便り

【発行】大槌町地域支援員配置事業  
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-6  
TEL : 0193-41-2780  
E-Mail : otsch.info@gmail.com



## 赤浜の漁師ブラザーズ

阿部 力さん (右)  
阿部 守さん (左)

震災以降、いろんな職種、ジャンルでのプロの方々との出会い、繋がりが、付き合いを重ねてきたという阿部兄弟。その中で、自分達も「漁師」という道でクオリティを落とす事なくやっていくという気持ちに、もう、何の揺らぎもないという。今回、「海」を職場とする二人にお話を聞きにいきました。

Q たくさんの人達との出会いの中で、自分に響いた事とは何ですか？  
頑張ってるのが自分だけって、自分の中で「大丈夫だな」つつうか。「津波」のせいになれねえなって。

Q 「海」と「仕事」に対する気持ちを教えてください。  
海は・・・お金です(笑) お金と同じです。まあ、それで飯食ってっからさ。津波はバカヤローだげど。実際、この仕事は金になっからさ。これは、若い人達にも知ってもらいたい。

三陸沿岸ってのは、恵まれてんだよ

## 「漁師」の道でやっていくことに あの「人」にインタビュー なんの揺らぎもない

## 大槌第3仮設

# アメリカから ピエロがやってきた



(上)抱っこされ泣きだしてしまいました(下)翌日19日には小槌のエコハウスでも開催されました

10月18日、午前10時30分から大槌第3仮設で、「アメリカの教会からピエロがやって来る」というイベントが行われました。当日は、曇り空の中20名の方が集まりました。

このイベントは、「東北ケア」さんが主催し、仮設住宅に住んでいらつしやる方達が元気に笑顔でいてほしいという思いで開催されました。ピエロを務めたのはアメリカ

カ出身のデイノさんとディッチーさんです。お二人は、元々アメリカの自動車会社でエンジニアや、普段は専業主婦をしているそうです。教会のボランティア団体に入り、このような活動を世界各地で行っています。

## 被災地まわり

# 元気づけたい！

小さな子供達は、初めて見るピエロに興味津々でしたが、近づくこと一歩引いたり、慎重に様子を見ながら近づいてくるようでした。風船で作られた飛行機を持ち、走り回って喜んでいました。

皆さんで集合写真を撮った後、自分から記念撮影をと、ピエロの二人にお願いする場面も見られ、皆さんとても楽しんでいました。

あと、10代から自分が好きで行くライブも、今ではお世話になった方々の所に足を運んで、感謝の気持ちを伝えたいという思いでも行くようになったんだよね。それって、己の気合やプライドだけで行けるもんじゃねえが

「笑顔にしたい」という気持ちには、会話できるできないは関係ないですね。音楽とジェスチャーで十分伝わる、素敵なイベントでした。

ね。日本各地いろんな土地の漁港を見てきたけど、ほとんど何にも捕れない所もあんのさ。ここは1年中、いろんな美味しい物が獲れつからね。格好つけた言い方をすれば、海に生かされているっていうヤツですよ。

あと、10代から自分が好きで行くライブも、今ではお世話になった方々の所に足を運んで、感謝の気持ちを伝えたいという思いでも行くようになったんだよね。それって、己の気合やプライドだけで行けるもんじゃねえが

らさ。金があつて行けるもんでしょ？  
自分が稼ぐことが、大槌の漁業の為にもなるし、自分のやりたい事の為になつてる。それが今の、仕事に対する意欲の源になつてんだよね。

Q 大槌をどんな町にしたいと思っていますか？  
笑いの絶えない町。いろんなことが、良い事に限りオープンにできるといいね。前の町の空気感に戻ること、すごい危機感をもつていて。自分で自分の限界を決めて、「無理だべ、無理だべ」ってゆうような感じじゃなくて、何事も「やる前提で」動く。ポジティブな町にしたい、していくんですよ俺達で。



大槌の方でも見たことない人がほとんどではないでしょうか？ 1歳のホヤの赤ちゃんです

Q 二人からみて、漁業は復興に向かっていますか？  
全体で見れば、まだだと思うけど、震災前と比べると収入ある人もいるし。漁師の

中にも種類があるからだけど、すべて自分次第で、やる気のある人にとっては順調にいつている。

元々、この仕事「壊れされ、また作る」の繰り返し

## 何事も「やる前提で」動く ポジティブな町に